

[令和2年4月改訂]

学位論文関係諸手続

論文博士

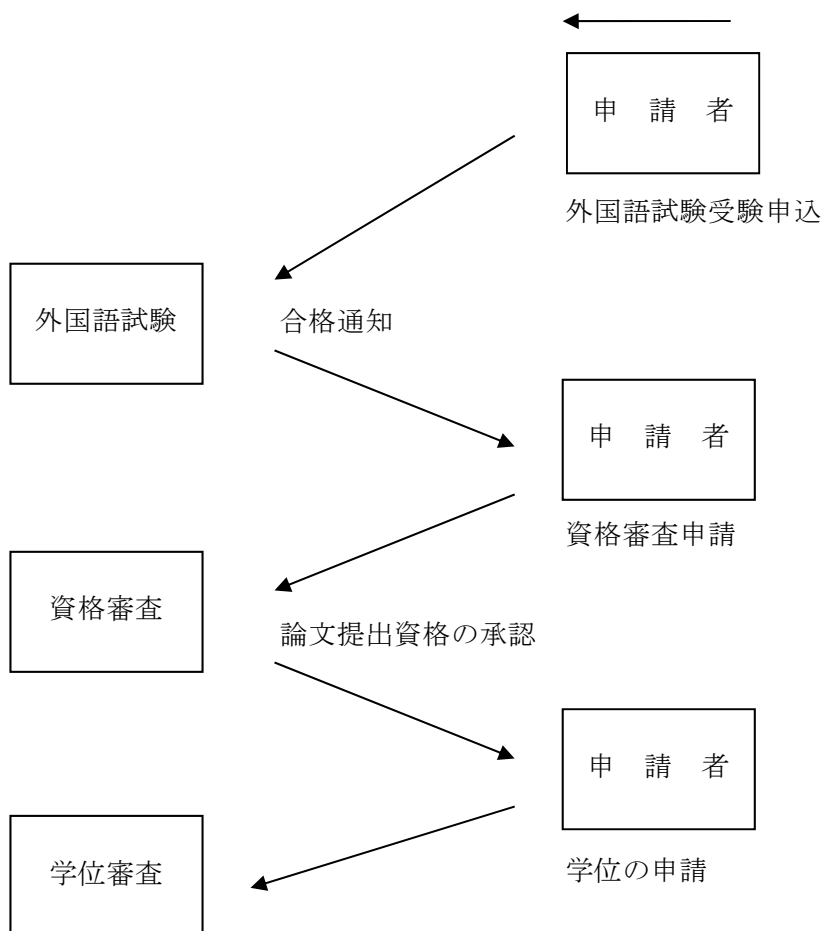
旭川医科大学大学院医学系研究科

学位論文（論文博士）関係諸手続

本学で学位の授与を受けるためには、旭川医科大学学位規程等の規程のほかに詳細な手続上のきまりがありますので、予めこの冊子を熟読し、十分注意のうえ手続をして下さい。

I. 学位論文提出手続の前に

最初に学位授与申請の流れの概略を図示しておきます。



1. 学位論文提出の資格

学位の授与を申請できる者は、次の(1)、(2)又は(3)の該当者となっています。

- (1) 大学の医学部又は歯学部を卒業した者で、基礎医学部門においては5年以上、臨床医学部門においては6年以上の研究歴を有する者
- (2) 大学の医学部又は歯学部以外の学部を卒業した者等で、7年以上の研究歴を有する者
- (3) その他、旭川医科大学大学院委員会博士課程委員会（以下「博士課程委員会」という。）が、前各号と同等以上の学力があると認めた者で、9年以上の研究歴を有する者

卒業（修了）した学部（課程）		研究歴の年数	部 門
医学部・歯学部		5年以上	基礎医学
		6年以上	臨床医学
医学部・歯学部以外	学部	7年以上	
	その他	9年以上	

2. 研究歴

規定上、認められる研究歴は次のとおりです。

- (1) 大学の専任職員として医学又は歯学の研究に従事した期間
(大学の医員又は医員（研修医）としての期間を含みます。)
- (2) 大学院の医学研究科又は歯学研究科を退学した者の大学院に在学した期間
- (3) 研究生として医学又は歯学の研究に従事した期間
- (4) 博士課程委員会が認める研究機関において専任職員として研究に従事した期間
- (5) 博士課程委員会が前4号と同等以上と認める方法により研究に従事した期間

以上の研究歴に関して、疑問があれば、必ず事前に学生支援課大学院・留学生係に確認して下さい。研究歴の期間の算定方法は、研究開始から資格審査申請時までの期間を数えることになっています。

3. 外国語試験

- (1) 外国語試験は、学位授与申請者に対する学力の確認のために行うものであり、この試験に合格しなければ、資格審査の申請はできません。
- (2) 外国語試験は、所定研究歴に達する2年前（試験実施の前月末までに年数を満たすこと。）から受験することができます。
- (3) 外国語試験は、毎年2回実施します。通例では、8月、2月に行われます。
- (4) 試験科目は、「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」です。
- (5) 外国語試験に関する具体的事項については、試験実施日の約1か月前に外国語試験実施要項を作成し各講座に配付します。

4. 資格審査

学位授与申請者は、学位論文を提出するために必要な資格等について、書類審査を受けなければなりません。(学位の申請と資格審査の申請は同時には出来ません。)

(1) 申請の時期

申請の要件を満たしている場合は、随時申請できますが、承認は各種の委員会において行われますので、通常は申請から決定までには1か月以上要します。論文の提出を想定されている場合には、余裕を持って申請願います。

(2) 提出書類

資格審査の申請に必要な書類、次のとおりです。

- | | |
|---|-------|
| 1) 資格審査申請書 (様式第 20) | 1 通 |
| 2) 履歴書 (様式第 10) | 1 通 |
| 3) 卒業 (修了) 証明書 (本学卒業者を除く。) | 1 通 |
| 4) 在職証明書
(本学以外の医療機関等について全て提出すること。) | 各 1 通 |
| 5) 研究歴証明書
(民間企業等の研究部門等において、研究歴を持つ方は提出願います。
研究従事期間を明示したものであること。) | 各 1 通 |
| 6) 論文紹介教員承認書 (様式第 17) | 1 通 |

(3) 資格審査申請書等の提出先

資格審査申請書等は、事前に論文紹介教員の点検を受けてから学生支援課大学院・留学生係に提出すること。この場合、提出書類について、誤記等があればその場で訂正してもらうので、必ず本人が持参すること。

(4) 資格審査の結果について

審査の結果については、学生支援課大学院・留学生係に問合わせて下さい。

II. 学位論文

1. 学位論文

学位論文は、単著、共著の原著論文又は学術雑誌等に掲載された原著論文を引用した学位申請論文とします。

また、申請する学位論文は、既に学術雑誌等に掲載されているか、掲載されていない場合は、学術雑誌等に投稿して掲載の許可が得られたものに限り、申請時には掲載されている学術雑誌等の写し、又は掲載許可書を必ず添付して下さい。

なお、共著の場合は、次の 2 つの要件を満たす場合に限り提出できます。

- (1) 論文提出者が筆頭者であること。ただし、論文提出者が筆頭者でない場合であっても、学位論文に第一著者と同等であると明記されている場合 (Equally Contributed) に限り、学位論文として審査を願い出ることができます。
- (2) 論文提出者以外の共著者が、当該論文を学位論文として学位授与申請に使用しないものであること。この場合、共著者の承諾書 (様式第 19) を添付しなければなりません。

2. 学位論文の公表

学位規程第 11 条により、博士の学位を授与された者は、博士論文の全文をインターネットの利用により公表することが義務付けられています。このインターネットによる公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することにより行うものです。

以下、学位論文諸手続中、「公表」とは旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。

Ⅲ. 学位論文提出手続等

1. 学位論文提出手続

(1) 学位論文提出の時期

資格審査終了後、学位論文は随時提出できます。

なお、学術雑誌等に掲載後、相当年数経過後の学位論文の受理は、5年を目途としています。

(2) 学位論文の提出先

学位論文等の書類一式については、事前に論文紹介教員の点検を受けてから学生支援課大学院・留学生係に提出すること。この場合、提出書類について、誤記等があればその場で訂正してもらうので、必ず本人が持参すること。

(3) 提出書類等

学位申請に必要な書類は、次のとおりです。

(事前に点検を受けること)

1) 学位申請書 (様式第8)	1 通	
2) 論文目録 (様式第9)	3 通	
3) 学位論文※1 (正3部, コピー3部)	6 部	
4) 参考論文 (一編につき正3部)	3 部	
5) 学位論文の要旨 (様式第14)	120 部	
6) 履歴書 (様式第10)	3 通	
7) 論文紹介教員承認書 (様式第17)	1 通	
8) 共著者承諾書 (共著者がある場合) (様式第19)	1 通	
9) 論文審査手数料領収書 (写)	1 通	
10) 掲載されている学術雑誌等の写し, 又は掲載許可書	1 通	
11) 博士論文(全文)のインターネット公表可能日の連絡届 (様式21) ※2		1 通
12) 博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書 (様式22) ※2		1 通

上記 2) から8) 及び11), 12)については、作成上の注意事項を後掲してあるので参照すること。

上記 9) の論文審査手数料は、57,000円です。

・支払い方法は、現金による支払いか銀行口座への振り込みになります。

担当窓口：会計課出納係 (管理棟1階)

受付時間：平日 8:30~17:15

T E L : 0166 - 68 - 2154 (内線2154)

※1 論文全文の電子データを、学位授与決定後、学位授与日前までに学生支援課大学院・留学生係に提出すること。

- ・ ファイルは PDF形式とし、パスワードによる保護は設定しないこと。
- ・ ファイル名は「学位申請者名.pdf」とすること。
- ・ テキスト情報が保持されたファイルとすること。
- ・ メール添付 (gaku-inryu@asahikawa-med.ac.jp), 又はCD-R 等に記録して提出すること。

※2 ① 学位授与日以降、直ちに博士論文全文を公表することができない場合は、公表可能日に合わせて、以下のいずれか一方の様式を提出すること。

- ・ 様式 2 1 : 公表可能日が学位授与日より 1 年以内の場合。
- ・ 様式 2 2 : 公表可能日が学位授与日より 1 年を超える, 又は未定の場合。
- * 学位授与日以降, 直ちに公表可能な場合は, いずれの様式も提出不要。

- ② 様式 2 2 を提出した者は, 学位授与日以降直ちに博士論文全文をインターネット公表することができない事由が「やむを得ない事由」に該当するかを大学院博士課程委員会において判断される。「やむを得ない事由」として認められた場合, 博士論文が公表できるようになるまで, 「博士論文の要約」をもって公表に代えることができる。その場合, 「博士論文の要約」は以下のとおり作成し, 電子データを学位授与決定後, 学位授与日前までに学生支援課大学院・留学生係に提出すること。
- ・ 表紙は 6 頁の学位論文の表紙を参考に作成し, 表題は「博士論文 (要約)」に変更すること。
 - ・ 本文は 3,000 字程度とし, 博士論文の構成や全体の内容がわかるようにすること。「博士論文の要旨」をそのまま「博士論文の要約」とすることは不可。
 - ・ ファイルは PDF 形式とし, パスワードによる保護は設定しないこと。
 - ・ ファイル名は「学位被授与者名 (要約) .pdf」とすること。
 - ・ テキスト情報が保持されたファイルとすること。
 - ・ メール添付 (gaku-inryu@asahikawa-med.ac.jp), 又は CD-R 等に記録して提出すること。
- ③ 博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書(様式 2 2)を提出して承認を受けた者の「やむを得ない事由」が解消された場合は, 博士論文全文のインターネット公表保留事由の解消届(様式 2 3)を提出すること。この提出を受け, 博士論文全文をリポジトリにより公表するものとする。

2. 学位論文の説明及び質疑応答

論文提出者は, 公開の博士論文発表会において約 15 分間の説明をし, 質疑を受けることになっているので, Power Point 等の準備をしておくこと。

3. 学位論文審査及び学力の確認方法

- (1) 学位論文は, 博士課程委員会に設けられた審査委員会で審査されるが, 審査期間中, 学位論文の内容について, 各審査委員から随時, 試問することがあるので, いつでも対応できるように連絡を密にしておくこと。
- (2) 学力の確認は, 審査委員会で専攻学術全般に関するもの及び学位論文を中心としたその関連分野について, 口頭試問又は筆答試問の形で実施する。

4. 学位の授与

審査委員会による学位論文の審査結果及び学力の確認の結果は, 博士課程委員会に報告され, 授与資格の認定及び学位授与が議決された後, 原則として, 次に掲げる日に学長から学位記が授与されます。

- 1) 3月25日
- 2) 6月30日
- 3) 9月30日
- 4) 12月25日

IV. 学位論文及び参考論文作成上の注意事項

学位論文及び参考論文は、以下のとおり作成して下さい。

1. 学位論文

(1) 表紙

- 1) 表題は、論文の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、論文が日本文の場合は日本語で、外国語で書かれたもの場合は外国語で記載すること。なお、外国語の場合は、表題の下に（ ）書きで和訳を付記すること。
- 2) 略語は、表題の中ではごく一般化されたもの以外は、原則として使用しないこと。
- 3) 副題を付けることは差し支えないが、「第一報・・・」のような形式は避け、できるだけ簡潔なものにすること。
- 4) 著者名は、称号を付けず姓名を略さずに記載すること。(戸籍抄本と一致させること。)

表紙の様式 (A4判の用紙)

A
○○○○○
B
○○○○○○○○○○
C
()

- A. 学位論文又は参考論文の別
(参考論文が2編以上ある場合は、論文目録の記載順に番号をつけること。)
例：参考論文1 参考論文2・・・
- B. 表題
- C. 著者名
() 内に共著者名

(2) 本文

- 1) 日本語の場合は、A4判の用紙にパソコン等により印字し、横書きとすること。
 - 2) 外国語の場合は、A4判の用紙にパソコン等を用いてダブルスペースで印字すること。
 - 3) 用紙は、所属機関名等の入らない白無地のものを使用し、あまり薄い紙質のものは使用しないこと。
 - 4) 図表又は図形等は、用紙の枠のサイズ内におさめること。
 - 5) 学位論文は、提出後に訂正等のないように吟味・推敲のうえ、完成したものを提出すること。
 - 6) 学位論文は、ダブルクリップではさみ、1部ごとに封筒に入れて提出すること。
 - 7) 受理した学位論文は、返却しないので、提出の際に写しを取っておくことが望ましい。
- (3) すでに学術雑誌等に掲載されているものについては、論文別刷をもって代えることができる。ただし、表紙の様式を満たしていない場合は、別に表紙を付けること。

2. 参考論文

- (1) 参考論文として、自分が今までに学術雑誌等に掲載された論文2編以上を提出すること。
- (2) 参考論文として、上記(1)以外に学位論文を補足する論文あるいは関連分野の論文を提出することができる。
- (3) その他のことについては、学位論文に準ずること。

V. その他の提出書類記入上の注意事項

1. 論文目録（様式第9）

- (1) 論文題目が外国語の場合には、() 書で和訳を付記すること。
- (2) 掲載の方法及び時期については、掲載又は掲載許可されている学術雑誌等の名称、掲載頁、発行年月を記入すること。
- (3) 参考論文は、全部列記すること。
- (4) その他記載例を参照すること。

2. 履歴書（様式第10）

- (1) 学歴は、大学卒業以後（大学を卒業していない場合は、最終出身学校）の履歴について、年次を追って記載すること。
- (2) 職歴は、関係機関において、年月日等を確認の上、年次を追って記載すること。
（研究生期間は除く。）
- (3) 研究歴は、関係機関において、年月日等を確認の上、年次を追って記載すること。
（研究生期間があれば記入する。）
- (4) その他記載例を参照すること。

3. 学位論文の要旨（様式第14）

- (1) 論文題目が外国語の場合には、() 書で和訳を付記すること。
- (2) 要旨は、3,000字以内にパソコン等（活字の大きさは10ポイント程度）で印字すること。
- (3) 要旨は、研究目的、材料・方法、成績、考案、結論に区分して要約すること。
- (4) 図表及び写真は挿入しないこと。
- (5) 掲載又は、掲載が許可されている学術雑誌等名を要旨の表紙に掲載すること。
- (6) 共著者があれば共著者名を要旨の表紙に掲載すること。
- (7) 重要な引用文献3編以内を要旨の最後に掲載すること。
- (8) 参考論文5編以内を要旨の最後に掲載すること。

4. 論文紹介教員承認書（様式第17）

資格審査申請時及び学位審査申請時は、必ず論文紹介教員承認書を添付すること（資格審査申請時に提出論文が決まっていない場合には、論文題目欄は「未定」と記入願います。）。

5. 共著者承諾書（様式第19）

学位論文が共著による場合は、必ず共著者承諾書を添付すること。
共著者が複数名いる場合は、各々の共著者について1枚提出すること。

6. 掲載等を証明する書類

掲載されている学術雑誌等の写し，又は掲載許可書を添付すること。

資 格 審 査 申 請 書

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

氏 名 _____

貴大学院医学系研究科に学位を申請したいので、関係書類を添えて
資格審査を申請します。

基 礎
(医学部門にて申請)
臨 床

履 歴 書

氏 名 あさひ 旭 川 太 郎 （男・女）

ASAHIKAWA Tarou

生年月日 昭和 年 月 日

本 籍 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

現住所 北海道〇〇市〇〇〇〇

学 歴

平成〇年〇〇月〇〇日 旭川医科大学医学部医学科卒業

職 歴

平成〇年〇〇月〇〇日

～

〇〇病院〇〇として〇〇科に勤務

平成〇年〇〇月〇〇日

研究歴

平成〇年〇〇月〇〇日

～

〇〇大学医学部〇〇講座 研究生

平成〇年〇〇月〇〇日

賞 罰

な し

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

※用紙の大きさは、A4判とし23×17cmの枠内におさめること。

※用紙は、各自で作成すること。

（注）署名は必ず本人が自署してください。

論文紹介教員承認書

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

論文紹介教員

氏名 _____ 印

下記の論文を学位論文として提出することを承認します。

記

論文題目	
関連講座等	
氏名	

備考

関連講座等欄には、各人本来の講座等名と、論文紹介教員の講座等名を記入すること。
講座等には、学科目，科，部，センターを含む。

学 位 申 請 書

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

氏 名 _____

旭川医科大学学位規程第 4 条第 3 項の規定により，学位論文に下記の書類及び所定の論文審査手数料を添え，博士の学位の授与を申請します。

記

- | | |
|------------|---------|
| 1. 論 文 目 録 | 3 通 |
| 2. 学位論文の要旨 | 1 2 0 部 |
| 3. 履 歴 書 | 3 通 |

備 考

学位論文は，正 3 部及びコピー 3 部を提出するものとする。参考論文については，正 3 部とする。
用紙は A 4 判とする。

(注) 署名は必ず本人が自署してください。

論 文 目 録

学位論文

1. 題 目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
○○○○, ○○○○と共著 (論文提出者を除く)

2. 掲載の方法 例 1 ○○○○医学雑誌 ○○巻○頁～○頁
及び時期 平成○年 (すでに掲載されている場合)

例 2 ○○○○医学雑誌 ○○巻
令和○年 掲載予定
(まだ掲載されていないが出版社等からの
掲載証明が添付できる場合)

3. 冊 数 1 冊

参考論文 1

1. 題 目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
乙野次郎ほか○名と共著
(ほか○名とは, 乙野次郎及び論文提出者を除く)

2. 掲載の方法
及び時期 上記学位論文の記載例に準ずる。

参考論文 2

・
・

令和 年 月 日
申請者 ○ ○ ○ ○

※用紙の大きさは, A 4 判とし, 23×17cmの枠内におさめること。

※用紙は, 各自で作成すること。

(注) 署名は必ず本人が自署してください。

学位論文の要旨

学位の種類	博士	氏名	○○○○
-------	----	----	------

学位論文題目
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

共著者名

例1 ○○○医学雑誌 ○○巻○頁～○頁
平成○年 (すでに掲載している場合)

例2 ○○○医学雑誌 ○○巻
令和○年 掲載予定
(まだ掲載されていないが出版社等からの
掲載証明が添付できる場合)

研究目的

.....
.....

材料・方法

.....
.....

(ページを入れる)

※用紙の大きさは、A4判とし23×17cmの枠内におさめ、パソコン等で印字すること。

※用紙は、各自で作成すること。

成 績

.....
.....

考 案

.....
.....

結 論

.....
.....

(ページを入れる)

引 用 文 献

(重要な引用文献3編以内を掲載すること。)

参 考 論 文

(参考論文5編以内を掲載すること。)

(ページを入れる)

共 著 者 承 諾 書

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

氏 名 _____ ⑩

所 属 _____

電 話 () - () - _____

現住所 _____

電 話 () - () - _____

下記の論文を _____ 氏が貴大学院医学系研究科に博士論文として提出することを承諾します。

なお、私は当該論文を学位論文として学位の授与の申請に使用いたしません。

記

論文題目

備 考

この承諾書は、共著者が作成すること。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表可能日の連絡届

私が執筆した博士論文の全文は、学位授与決定後の下記公表可能日以降速やかに、インターネットの利用により公表願います。

記

公表可能日： 令和〇〇年〇〇月〇〇日

届出者氏名 旭川太郎 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

指導教員確認欄
(論文紹介教員)

○ ○ ○ ○ 印

※自署の場合は押印不要

- ※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。
- ※ 本様式は、学位取得予定日から1年以内の一定期間、公表を保留する必要がある場合に提出するものです。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書

私は、学位を授与された場合、次の事由により、私が執筆した博士論文の全文を、学位取得予定日から1年以内にインターネットの利用により公表することができないので、博士論文の内容の要約を公表することを申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際は、速やかにその旨を報告します。

1. 博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由

- 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、学位取得予定日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含むため。
- 出版刊行、多重公表を禁止する学術雑誌への掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による学位論文の全文の公表により、明らかな不利益が、学位取得予定日から1年を超えて生じるため。
- 博士論文が、学術雑誌へ投稿中のため、掲載されることが確約されていないため。
- その他、やむを得ない特別な事由があるため。

2. 全文を公表できない事由の具体的な内容

--

3. 全文を公表できない事由の解消見込み

見込み時期	<input type="checkbox"/> 令和〇〇年 〇月〇〇日	<input type="checkbox"/> 未定
見込み時期を上記とした理由		

申請者氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和 年 月 日

指導教員確認欄
(論文紹介教員)

印

※自署の場合は押印不要

※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書

私は、学位を授与された場合、次の事由により、私が執筆した博士論文の全文を、学位取得予定日から1年以内にインターネットの利用により公表することができないので、博士論文の内容の要約を公表することを申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際は、速やかにその旨を報告します。

1. 博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由

- 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、学位取得予定日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含むため。
- 出版刊行、多重公表を禁止する学術雑誌への掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による学位論文の全文の公表により、明らかな不利益が、学位取得予定日から1年を超えて生じるため。
- 博士論文が、学術雑誌へ投稿中のため、掲載されることが確約されていないため。
- その他、やむを得ない特別な事由があるため。

2. 全文を公表できない事由の具体的な内容

(記載例)

〇〇社の〇〇〇誌に掲載されましたが、〇〇社では、発表後〇年間は、インターネット等による公表を認めていないため。

(1でチェックをつけた事由について、具体的な内容を記載してください。)

3. 全文を公表できない事由の解消見込み

見込み時期	<input checked="" type="checkbox"/> 令和〇〇年 〇月〇〇日	<input type="checkbox"/> 未定
見込み時期を上記とした理由	上記2. の事由のため	

該当する項目をチェックしてください。

(複数選択可)

申請者氏名 旭 川 太 郎 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和 年 月 日

指導教員確認欄
(論文紹介教員)

〇 〇 〇 〇 印

※自署の場合は押印不要

※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表保留事由の解消届

私が執筆した博士論文の全文について、下記公表可能日以降に速やかに、インターネットの利用による公表が可能となりましたので、届け出ます。

記

公表可能日： 令和〇〇年〇〇月〇〇日

届出者氏名 旭川太郎 印

※自署の場合は押印不要

学位取得日 令和〇〇年〇月〇〇日

学位記番号 〇〇〇〇

指導教員確認欄 (論文紹介教員)	○ ○ ○ ○ 印
---------------------	-----------

※自署の場合は押印不要

※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。